

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	欧米文化論	
科目基礎情報							
科目番号	0005			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科一般科目			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	初回授業時にテキストを示す。適宜、課題資料を配付する。						
担当教員	ナミタ マサルジャン						
到達目標							
(科目コード：A0150, 英語名：Western Culture) この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。 この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。 ①SDGsを批判的に学ぶべき30%(B1)・(B3)・(B4) ②西洋文化についての議論についてプレゼンテーションを行う 35%(B1)・(B3)・(B4) ③欧米文化に関して分析・考察したことについて発表する35%(B1)・(B3)・(B4) 本科目は第4学期に実施する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
SDGs に関する検討	自分の視点でSDGsの作品や学際的な文脈を批判的に分析できる		SDGsの作品や学際的な文脈を批判的に分析することができる。		SDGsの作品や学際的な文脈を批判的に大まかに分析することができる。		左記に達していない。
創造都市ネットワークに関する検討	創造都市ネットワークの作品や学際的な文脈を批判的に分析できる		創造都市ネットワークの作品や学際的な文脈を批判的に分析することができる。		創造都市ネットワークの作品や学際的な文脈を批判的に大まかに分析することができる。		左記に達していない。
欧米文化に関する考察	欧米文化に関して、独自の視点から分析・考察したことについて詳細に発表することができる。		欧米文化に関して分析・考察したことについて発表することができる。		欧米文化に関して分析・考察したことについて発表することが概ねできる。		左記に達していない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	このコースは、SDGs、サブカルチャー、新しいメディアと相互に関連する新たな芸術的実践に関心を持つ学生を対象とし、これらの現象が都市社会の創造的発展とどのように関連するかを学ぶ。						
授業の進め方・方法	課題となる原書文献について事前に十分に内容を理解し、授業ではグループでの話し合い等により多面的な視点から文献を検討すること。議論に主体的に参加し、積極的に発言をすること。この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポート課題などを実施します。						
注意点	特になし。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	概要説明 SDGsと創造都市ネットワーク」		SDGsや創造都市の知識を学ぶ。 課題: 次のクラスの重要なポイントを復習します。		
		2週	創造都市ネットワークの事例		SDGsや創造都市の知識を身につける。 課題: 次のクラスの作品を読む。		
		3週	文学を軸にした創造都市ネットワーク講読と検討		批判的な観点から、文学の事実や学際的な概念を分析する。 課題: 次の授業のための作品のディスカッション。		
		4週	文学を軸とした創造都市ネットワークの議論と検討		自分の意見を批判的に文学に発表する。 課題: 次のクラスの作品を読む。		
		5週	デザインに基づく創造都市ネットワーク講読と検討		デザインに対して批判的に意見を述べる。 課題: 次のクラスの作品を読む。		
		6週	デザインに基づく創造都市ネットワークの議論と検討		デザインの事実と学際的な概念を批判的な観点から分析する。 課題: 次の授業のための作品のディスカッション。		
		7週	工芸・民芸をテーマにした創造都市ネットワーク講読と検討		工芸や民芸品の事実や学際的な概念を批判的な観点から分析する。 課題: 次の授業のための作品のディスカッション。		
		8週	工芸・民芸を基盤とした創造都市ネットワークの議論と検討		工芸や民芸品に批判的に意見を述べる。 課題: 次のクラスの作品を読む。		
	4thQ	9週	美食学に基づく創造都市ネットワーク講読と検討		美食学の事実と学際的な概念を批判的な観点から分析する。 課題: 次の授業のための作品のディスカッション。		
		10週	美食学に基づく創造都市ネットワークの議論と検討		学生は美食学に批判的に意見を述べる 課題: 次のクラスの提案を準備する。		
		11週	創造都市ネットワークの提案準備		国際提案書の作成手順を学ぶ。 課題: 次のクラスの提案のためのアイデアを見つける。		
		12週	創造都市ネットワークの提案準備		国際提案書の作成手順を学ぶ。 課題: 次のクラスの提案のためのアイデアを見つける。		
		13週	創造都市ネットワークの提案準備		国際提案書の作成手順を学ぶ。 課題: 次のクラスの提案のためのアイデアを見つける。		

		14週	プレゼンテーション	提案を発表する。 課題: プレゼンテーションを見直し、振り返りの準備を しる。
		15週	活動の反映	授業の振り返りを行う。 課題: 復習クラスの準備をする
		16週	授業の復習	授業の振り返りを行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	英語	英語運用能力の基礎固め	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	ワークシート	発表	相互評価	態度			合計
総合評価割合	50	30	10	10	0	0	100
基礎的能力	50	30	10	10	0	0	100